2023 年 7 月 3 日
日本銀行松江支店

山 陰 の 金 融 経 済 動 向

（概況）

山陰の景気は、一部に弱い動きがみられるものの、全体として緩やかに持ち直している。

最終需要をみると、個人消費は、持ち直している。住宅投資は、持ち直しの動きが一服している。設備投資は、増加している。公共投資は、横ばい圏内で推移している。

製造業の生産は、弱い動きとなっている。

この間、雇用・所得環境をみると、持ち直している。

１．最終需要の動向

（１）個人消費

個人消費は、持ち直している。

○　百貨店売上高は、弱めの動きとなっている。量販店売上高およびホームセンター販売額は、堅調に推移している。

○　家電販売額は、持ち直しの動きが一服している。

○　新車登録台数は、持ち直している。

○　観光関連の動きをみると、主要温泉地の旅館・ホテルの宿泊客数および空港利用者数は、持ち直している。

（２）住宅投資

住宅投資は、持ち直しの動きが一服している。

○　新設住宅着工戸数の内訳をみると、持家は、弱い動きとなっている。貸家は、弱めの動きとなっている。分譲は、増加している。

（３）設備投資

設備投資は、増加している。

○　短観の設備投資計画をみると、2023 年度は、製造業における能力増強投資によって前年を上回る計画となっている。

○　建設投資の先行指標である建築着工床面積（非居住用）は、持ち直しつつあるとなっている。

（４）公共投資

公共投資は、横ばい圏内で推移している。

○　公共工事請負金額をみると、横ばい圏内で推移している。

２．生産の動向

生産は、弱い動きとなっている。

○　鉱工業生産を業種別にみると、電気機械は、弱い動きとなっている。鉄鋼は、弱い動きとなっている。一般機械は、弱めの動きとなっている。食料品は、増加している。紙・パルプは、弱めの動きとなっている。木材・木製品は、高水準で推移している。繊維は、横ばい圏内で推移している。

３．雇用・所得の動向

雇用・所得環境をみると、持ち直している。

○　有効求人倍率は、高水準となっている。所得面は、改善の動きがみられている。

４．物価の動向

○　消費者物価（生鮮食品を除く総合）は、鳥取市、松江市とも前年を上回った。

５．金融面の動向

○　金融機関（銀行・信用金庫計）の総預金残高（末残）をみると、個人預金を中心に前年を上回って推移している。

○　貸出金残高（末残）をみると、個人向けを中心に前年を上回って推移している。

○　貸出約定平均金利（総合・ストックベース）は、低水準横ばい圏内で推移している。

６．企業倒産の動向

○　企業倒産は、件数、金額とも低水準にある。

以　上